学校番号	209

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	数学Ⅰ	単位数	３単位	年次	１年次
使用教科書	改訂版 新編 数学Ⅰ （数研出版）						
副教材等	改訂版 教科書傍用 3TRIAL 数学Ⅰ＋A 改訂版 新課程 練習ドリル数学Ⅰ基本から標準編（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・教科書、ノート、練習ドリルを授業に持参してください。
・課題提出があります。教科書、練習ドリル、3TRIAL の問題を一度自分で考えて解きましょう。途中式や考え方を必ず書きましょう。
・課題を提出するときは、各自で答えあわせをして提出しましょう。
・確認テストも実施します。復習は定期的に行いましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
数と式，図形と計量，2 次関数及びデータの分析について基礎的な計算ができる。
【思考力、判断力、表現力等】
数と式，図形と計量，2 次関数及びデータの分析について理解し、知識を応用することができる。
【学びに向かう力、人間性等】
事象を数学的に考察し、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する姿勢をとることができる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	数と式，図形と計量，2 次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身につけるようにする。	命題の条件や結論に着目し，数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力，図形の構成要素間の関係に着目し，図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力，関数関係に着目し，事象を的確に表現してその特徴を表，式，グラフを相互に関連付けて考察する力，社会の事象などから設定した問題について，データの散らばりや変量間の関係などに着目し，適切な手法を選択して分析を行い，問題を解決したり，解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	第1章　数と式	第１節 式の計算	a:式に関する用語や公式を理解し、式の計算や変形ができる。 b:おき換えなどの工夫をして式を変形することができる。 c:式の変形や整理、工夫について関心をもち、考察しようとする。	確認テスト 定期考査 観察	確認テスト 定期考査 観察	提出課題 観察
		第２節 実数	a:実数に関する用語を理解する。絶対値や根号を含む式の計算ができる。 b:数の拡張について理解する。 c:数の体系について関心をもち、考察しようとする。	確認テスト 定期考査 観察	確認テスト 定期考査 観察	提出課題 観察
		第３節 １次不等式	a:１次不等式や連立１次不等式、絶対値を含む方程式や不等式を解くことができる。 b:複雑な不等式の問題の解き方を理解する。 c:不等式の性質や解の意味、解き方について関心をもち、考察しようとする。	確認テスト 定期考査 観察	確認テスト 定期考査 観察	提出課題 観察
	第2章　集合と命題	集合	a:集合とその表し方を理解し、表すことができる。 b:図などを用いて、集合を視覚的に表現して考察できる。 c:集合についての概念や表現方法について関心をもち、考察しようとする。	確認テスト 定期考査 観察	確認テスト 定期考査 観察	提出課題 観察
2学期	第3章　２次関数	第１節 ２次関数とグラフ	a:２次関数と放物線について理解する。平方完成ができる。放物線のグラフをかくことができる。 b:放物線の移動を頂点に着目して考察できる。 c:２次関数と放物線の用語や平行移動について関心をもち、考察しようとする。	確認テスト 定期考査 観察	確認テスト 定期考査 観察	提出課題 観察
		第２節 ２次関数の値の変化	a:２次関数の最大値、最小値を求めることができる。連立３元１次方程式を解くことができる。 b:与えられた条件を式に表現し、２次関数を決定することができる。 c:２次関数の最大、最小や２次関数の決定条件について関心をもち、考察しようとする。	確認テスト 定期考査 観察	確認テスト 定期考査 観察	提出課題 観察

		第３節 ２次方程式と ２次不等式	a:２次方程式や２次不等式の解と２次関数のグラフとの関係について理解し、２次方程式、２次不等式を解くことができる。 b:２次方程式の解の条件を式で表すことができる。 c:２次方程式、２次不等式の解き方ついて関心をもち、考察しようとする。２次不等式を解くときに図を積極的に利用する。	確認テスト 定期考査 観察	確認テスト 定期考査 観察	提出課題 観察
３学期	第４章　図形と計量	第１節 三角比	a:三角比の定義を理解し、三角比に関する公式を利用して問題を解くことができる。 b:三角比の表を利用することができる。 c:三角比の定義や拡張、公式や三角比の表の利用について関心をもち、考察しようとする。	確認テスト 定期考査 観察	確認テスト 定期考査 観察	提出課題 観察
		第２節 三角形への応用	a:正弦定理、余弦定理を利用して三角形の辺の長さや角の大きさを求めることができる。三角形の面積を求める公式を理解し、求めることができる。 b:正弦定理、余弦定理を測量に応用できる。 c:正弦定理、余弦定理の図形的な意味について関心をもち、考察しようとする。	確認テスト 定期考査 観察	確認テスト 定期考査 観察	提出課題 観察
	第５章　データの分析	データの分析	a:データの分析に関する用語や公式を理解し、それらを求めることができる。 b:データやその分布を表や図で表すことができる。表や図からデータの比較ができる。 c:データの分析に関する用語や公式の意味について関心をもち、考察しようとする。	確認テスト 定期考査 観察	確認テスト 定期考査 観察	提出課題 観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度